

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2023年1月1日

1月号 NO.115

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室（市役所内）
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

12月議会

きよた純子の一般質問

昨年12月19日の本会議で、今期最後の一般質問を行いました。市民要求として取り組んできたことの一部ではありますが、5項目の問題を取り上げました。その内容を掲載します。切実な要求はまだあります。今後がんばります。

子ども医療費助成の完全無償化求める

現在、子ども医療費助成は受診1回につき500円、1つの病院では1000円まで自己負担を求めています。限度額は月に1人が貧困状態にあります。2016年度に府が行った子どもの生活実態調査では、子どもの貧困率は14・9%、7人に1人が貧困状態にあります。コロナ禍でさらに深刻になっているとみられます。就学前の自己負担は、都道府県レベルでは12都道府県がゼロ円にしています。子ども医療費無償化が求められています。大阪府の子ども医療費助成の補助対象は就学前まで、それ以上の18歳までの年齢は高槻市独自に実施しています。47都道府県で、入院通院ともに就学前までとしている都道府県は、47都道府県で16自治体です。私は「府に補助を増やすことを求め、市独自にでも無償化を」と求めました。高槻市は「今後、調査・研究する」と答弁しました。



医療費無償化が求められています。大阪府の子どもの医療費助成の補助対象は就学前まで、それ以上の18歳までの年齢は高槻市独自に実施しています。47都道府県で、入院通院ともに就学前までとしている都道府県は、47都道府県で16自治体です。私は「府に補助を増やすことを求め、市独自にでも無償化を」と求めました。高槻市は「今後、調査・研究する」と答弁しました。

公営住宅は抜本的に増設を

府営住宅応募倍率2・7倍〜36・5倍（高槻市内）

高槻市内には府営住宅は13団地。府の計画では今後10年間で約1万2000戸削減（府全体で）されます。高槻では下田部、柱本、氷室の3団地が集約建替（管理戸数を減らして建て替え）の対象。下田部と柱本団地は昨年の2月募集分から募集停止です。府への聞き取り調査では、建て替え区画を3〜4区画に分け、区画ごとに順番に建て替える。2022年度に基本計画の策定（全体計画が示される）、2023年度に（建て替え1区画目の）基本設計、2024年度に実施設計を策定。全体の建て替えは10年以上かかるとのこと。府営深沢住宅は建て替えて（2009年建築完成）応募倍率が

府営住宅高齢化率46% 若い人も入居できる基準に

高くなりましたが、深沢住宅の跡地はいまだに空き地になっている。府営住宅の入居者の高齢化率は46%と高く、共同施設の維持管理や自治会活動が困難になっています。公営住宅は入居収入基準が改悪され、ごく限られた低所得者しか入居できなくなっています。市営住宅も同じ入居基準のため、同様の問題が起きています。府営住宅の入居者の高齢化率は46%と高く、共同施設の維持管理や自治会活動が困難になっています。公営住宅は入居収入基準が改悪され、ごく限られた低所得者しか入居できなくなっています。市営住宅も同じ入居基準のため、同様の問題が起きています。

住宅困窮者の家賃補助制度の創設を

住宅確保給付金がありますが、収入制限が厳しくて児童扶養手当等を合わせると対象が外れるというひとり親家庭の声もあります。また、給付条件に「収入減少」があるため、住宅確保に困窮しています。私は「住宅困窮者が幅広く使える恒久的な家賃補助制度の創設が必要」と訴え、市とも検討することを求めました。



特別支援学級

文科省は支援学級の子どもに「授業時数の半数を支援学級で学習することを原則とする」とを求めています。支援学級での学習時間が増えて助かる子、そ

学びの場変更不安の声

小中学校の支援学級に在籍している子どもの中には軽度の発達障害がある子どもなど、普通学級で学習している時間の方が多くいます。文科省はこの対象児童・生徒に通信指導教室や普通学級に「学びの場の変更」を求めています。しかし、学習面だけでなく、

では、困るという子どももいます。また、感覚過敏がある子どもは、支援学級にいる子どもが増えることで、落ち着けなくなることも心配されます。

高校受験と内申点

中学校では支援学級で勉強する教科は内申点がかからないので「受験の時に学校から出される成績はオール1になる」と言われた。高校受験に不利になるのでは」との不安の声があります。一方で、支援学級に在籍していても定期テストを受ければ

内申点がつきますが、普段、普通学級で授業を受けていない教科のテストを受けることになり無理があります。私は「受験についても合理的配慮が必要だ」と訴えました。教育委員会では「受験での評価は府の公立高等学校入学者選抜要綱で決められている。受験時は申請により合理的配慮がされている」と答弁。私は「府の受験制度は問題も多いが、本人が納得して進路の決断ができるような支援が必要だ」と訴えました。

年度当初から教員の欠員

教育委員会は「支援学級に在籍する児童生徒の支援は支援員、教員も含めた組織的な体制でしている」とし、学校全体で支援学級を支えているとしています。私は「教員の欠員

知的障がい者にもおむつの補助を

高槻市では日常生活用具の紙おむつの支給は身体障がい者に限られています。しかし、茨木市などでは知的障がい者も対象です。10月に要望書と署名が市長に提出され、障がい者

家族から「子どもが困らないように、おむつの補助を実現してほしい」との声が寄せられています。2016年のきょうさんんの調査では、障がいのある人の貧困率は国民一般の

地域猫活動

これ以上飼い主のない猫を増やさないために避妊・去勢手術を行い、一代限りの命を全うさせ、地域でルールある飼育を実践する。地域猫活動があります。私は地域猫活動の

効果について質問し、市は「生活環境被害の防止にも寄与している」と答弁しました。

活動内容の周知求める

市の不妊、去勢手術助成は「申請後、補助金もらえるのは1年待ち。利用しにくい」

の声も。他市では抽選なしで申請すれば、すぐに助成金がもらえ、地域猫活動を周知するポスターを作成している所もあります。私は新たな取り組みを検討するなど対策強化を求めました。

教員（常勤・非常勤）の欠員状況

	4月8日		11月1日	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
2022年度	3	3	17	2
2021年度	0	1	11	1
2020年度	0	2	6	2

※2022年12月1日時点は常勤11名、非常勤3名の欠員。



673-0002

生活相談 ☆ホットライン お困りごとはありませんか？

日時：1月25日水 14:00～15:30

市議員 きよた純子

当日は電話で相談を受け付けます。電話イラストの上の番号におかけください。